



●備えよう! 防災グッズ

今年の冬は新型コロナの変種が再び日本でも広がりました。30周年を迎えた北町5丁目町会ではこの二年、行事の休止を余儀なくされています。この間、感染症のほかにも地震や竜巻、火山の噴火など不安は増すばかりです。町会では、「防災ボックス8点セット」を30周年記念品として配布しました。持ち出し袋にシート、マスク、携帯トイレ、LEDライトなどが入っています。みなさんご家庭にある防災グッズを揃えてみてはいかがでしょうか。(北町五丁目町会)

●新しい公園ができます

まだまだコロナ禍ですが、緑町三丁目町会に明るいニュースがありました。NTT 武蔵野研究開発センタ北門の北側にある市の資材置場ですが、下水道工事が終わり次第、区画の一部が公園として整備される予定です。市との話し合いを行い、利用しやすいきれいなまちにできたらと思います。(緑町三丁目町会)

●小型家電回収ボックスをご存知ですか?

電気シェーバーやドライヤー、スマホなど小型家電には、金・銀などの貴金属やレアメタルなどの希少金属が含まれています。武蔵野市では、市役所をはじめ市内のコミセンなど公共施設20か所に使用済みの小型家電の回収ボックスを設置し、回収・資源化しています。使用済みの小型家電を回収ボックスに投入するときは、有料ごみ処理袋や危険・有害ごみ袋に入れず、そのまま入れてください。投入する際、個人情報必ず消去してください。中の電池・充電電池はできる限りはずして、「危険・有害ごみ」の日にお出しください。クリーンセンター周辺では、市役所の総合案内、けやきコミセン、緑町コミセン、エコre ゾートに設置されています(投入口のサイズは4ヶ所とも30×15cm)。その他の設置場所・投入口のサイズは、武蔵野市のホームページなどをご覧ください。

編集後記

12月の講演会は、コロナ禍で多くの方に聴講いただけませんでした。気象予報士は、朝ドラになるほどの注目職業ですが、身近な気象から地球環境まで奥の深い知識が必要なのだと実感しました。今回の講演はクイズを交え、とてもわかりやすいお話でした。今後もこのような企画を提供できればと思います。(村井寿夫)

●好評! 野菜の移動販売

毎週金曜日午後1時から集会所前広場で野菜の移動販売が行われています。ボランティアスタッフの方が「重たい荷物を運びます」と助けてくれることから、大根、白菜、ねぎ、ごぼうなどたくさんの野菜が売れていきます。お惣菜やお花も好評です。「こんにちは」「お元気でしたか?」と、コロナ禍でも買い物に集まった方向士で会話が弾みます(武蔵野緑町パークタウン自治会)。

●自治会活動が制限される中で

コロナ禍の影響で、この二年間は、自治会の柱である住民同士の交流を深める親睦活動が大きく制限されてしまいました。それでもスマホ教室・美文字教室・脳トレなどに取り組んできた中、若い方々が参加して下さるようになりました。自治会に新しい風を吹かせてくれるのではと期待しています。(武蔵野緑町二丁目第2アパート自治会)

令和3年度 活動報告

- 令和3年
4/21 第240回 運営協議会会議
5/25 運営協議会会議(臨時)
5/31 第241回 運営協議会会議
8/3 第242回 運営協議会会議
9/28 第243回 運営協議会会議
9/30 「運営協議会だより」第79号発行
12/5 運営協議会イベント実施
講演会「地球温暖化を読み解く」
12/14 第244回 運営協議会会議
及び市長との意見交換会
令和4年
2/16、18、21、25、3/2、7
環境健康診断実施 申込者144名
2/22 第244回 運営協議会会議
3/31 「運営協議会だより」第80号発行
※バス研修会と委員研修は中止になりました。

編集・発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会
〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5
武蔵野クリーンセンター内
電話:0422-54-1221
●武蔵野市ホームページ
http://www.city.musashino.lg.jp/

*この広報は、再生紙を使用しています。

武蔵野クリーンセンター
運営協議会
だより 80

CONTENTS

- P1...地球温暖化を読み解くーイベント報告
P2...クリーンセンターのSDGsは始まったばかりー後編
武蔵野の雑木林植生を継承する
P3...クリーンセンターのイベント
P4...まちのできごと
小型家電回収ボックスをご存知ですか?
令和3年度活動報告

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは
1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された
周辺3地域4団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

<運営協議会イベント報告>

地球温暖化を読み解く

武蔵野クリーンセンター運営協議会 会長
狩野 耕一郎

一昨年来のコロナ禍にあってイベント等の開催が困難な状況でしたが、2021年12月5日、クリーンセンター見学者ホールで、講演会を開催しました。武蔵野市に在住・在勤・在学の方を対象に、会場とオンラインでの視聴を併用して、19名の参加がありました。目下、世界中の最大の課題と言うべき「地球温暖化を読み解く」をテーマに、NHK 前橋放送局の気象キャスターで気象予報士と防災士でもある新村美里氏を講師に迎え、クイズ問題なども織り込みながら、わかりやすく興味深いお話をしていただきました。

講演会の概要

- *現在のままでは、最高気温が40℃を越える2100年の天気予報
*世界の二酸化炭素の排出量が急上昇していること
*温暖化が進むとどうなるか
*熱中症での死亡者数
*地球温暖化に備えることとは?
*地球の未来のためにみんなで行動していこう



講師の新村美里さん(左)と未来の天気予報(下)。

地球温暖化の適応策と緩和策

地球温暖化対策には適応策と緩和策があり、温暖化による悪影響に備える適応策には、①暑さに強い作物の開発など植物の品種改良、②生物多様性の保全などをあげていました。温暖化の原因となる温暖化ガスを減らす緩和策には、①省エネ、②自然エネルギーの活用、③森林の保全をあげていました。

私たちにできることとして、二酸化炭素を出さない生活習慣の重要性も指摘されました。

質疑応答では、「気象予報図に記載されている曲線(等圧線)の信ぴょう性について、太平洋上に気圧の測定箇所があるのか」という質問に対して、かなりの確率で予測できるとのことでした。

他にも台風・竜巻などの発生について、個人でできる二酸化炭素削減方法、SDGsの目標以外に大事なことなど、さまざまな質問がありました。

終了後のアンケート調査では、参加者の約8割が「わかりやすかった・理解できた」との評価でした。

一方、「専門分野の気象の話をもっと深掘りして欲しかった」「メタンガスの効果についての言及も欲しかった」といった意見もありました。

今回講演会が無事開催できたことは、ごみ総合対策課職員の方々のご努力と、担当した運営協議会の委員の貢献があったからこそと感謝申し上げます。

終了後、現状からは当然ですが、講師の新村さんを囲んでの交流は残念ながらできませんでした。またいつの日か地球温暖化や気象予報について、さらに深いお話を伺う機会に恵まれることを願います。

クリーンセンターのSDGs 取り組みは始まったばかり

— 後編

前回に続きクリーンセンターのSDGsをご紹介します。



#15 武蔵野の雑木林植生を継承する

新クリーンセンターの建設及び運営を担う事業者として選ばれた企業の提案は、「武蔵野らしさを感じさせる」施設づくりです。

武蔵野の自然を代表する雑木林を中心とした建物まわりの緑地整備は、SDGsの目標では#15「陸の豊かさを守ろう」に該当します。

○現況の植栽に配慮した建設工事

クリーンセンターの建て替え予定地は以前主に芝生地でしたが、ヒマラヤスギなど近接した大木を現地で残せるよう配置を検討し、一部支障となる樹木については、クリーンセンターの東側や南側などに移植、止むを得ず伐採せざるを得ない樹木は製材してクリーンセンター内の家具に利用されています。



クリーンセンター
東北角の保存樹
(ヒマラヤスギ)



若返りが必要な独歩の森の雑木林



どんぐり広場

○地域由来の雑木による植栽

クリーンセンターの植栽材料は、生物多様性に配慮して、在来種(地域固有の種)を選定しています。中でもどんぐり広場の樹木(クヌギ、コナラ、エゴ)については、購入した木ではなく、境四丁目にある「独歩の森」で実生から育てられた苗木を移植しています。

○どんぐり広場の植栽

エコレゾートと管理棟の間の敷地は、新たに緑地が整備されました。どんぐり広場と二つの芝生広場による構成で、どんぐり広場に11本の落葉樹が植栽されています。

○どんぐり広場の生育状況とこれから

どんぐり広場の樹木は2本枯損し、植え替えました。まだ植栽から2年、根系が整えば、3年目頃から伸長が本格化します。エコレゾートの活動を通して市民の手で育てていくことが期待されます。

○独歩の森の雑木林を受け継いで

「独歩の森」は、境山野緑地(境四丁目)の南側半分の通称で、武蔵野の雑木林を継承する貴重な林です。江戸時代から薪や炭、落葉堆肥などに利用することで、生物多様性に富んだ武蔵野らしい若い雑木林が継承されてきました。

しかし、70年以上若返り(萌芽更新)が行われなかった結果、生物多様性が低下し、近年はナラ枯れによる老樹の枯損が顕著になり、若返りが急がれています。

どんぐり広場の苗木植栽は、この貴重な地域固有の緑をクリーンセンター周辺にも受け継いでいこうという試みです。

環境やエコに関するさまざまなイベントを開催

クリーンセンターのイベント



エコマルシェの様子(2019年)

コロナ禍でのイベント

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、感染対策を徹底して、例年とは異なる方法で開催しました。

●エコマルシェ&オープンハーヴェスト

環境にやさしいライフスタイルを発信するエコマルシェと、「食と環境」をテーマにしたオープンハーヴェストを同時開催しました。

家庭で「食」を楽しむためのステイホームデコレーション展示、保冷剤やジャムの空き瓶などを再利用して芳香剤を作るワークショップ、さまざまな廃材で作った工作を展示して人気投票を行う廃材工作作品展、屋上見学ツアーなどを行いました。

また、オープンハーヴェストの一環として、「むさしのエコ弁当」を企画し、クリーンセンター周辺の飲食店で期間限定の弁当をそれぞれ販売しました。地域の「食」に関するエコな取り組みに参加したり、家庭で「食」を楽しみながらエコについて考えるきっかけづくりとして、多くの方が参加しました。



「むさしのエコ弁当」のチラシ。
店舗で弁当を購入するとスタンプを押してもらえます。そのチラシを持ってクリーンセンターに来場するとノベルティと交換できる仕組みでした。

●特設WEBサイトの公開

ステイホームでもクリーンセンターを楽しめるように施設見学を体験できる動画や、冬休みに親子で楽しめる廃材工作のレシピを掲載している「武蔵野クリーンセンターを知ろう!遊ぼう!」という特設WEBサイトを公開しています。またエコマルシェについて、これまで出店された方々にご協力いただき、「みんなのエコマルシェ」のサイトにて、各店のエコな取り組みについてご案内しています。特設WEBサイトは下記のURLか、クリーンセンターのホームページからご覧いただけます。

※「武蔵野クリーンセンターを知ろう!遊ぼう!」
<https://musashino-clean-center.com>
「みんなのエコマルシェ」
<https://ecomarche.musashino-clean-center.com/>

例年開催しているイベント

●エコマルシェ

環境にやさしい暮らしについて発信するイベント。環境に配慮した食べ物やエコな小物、植物の販売をする地域のお店の出店や、「おもちゃのかえっこ」、「クリーンセンター見学」などを行っています。

●オープンハーヴェスト

「食と環境」をテーマに、「食」を楽しみながら環境について学び、出店者と来場者が直接ふれ合うことのできるイベント。生ごみ堆肥を使った屋上菜園の野菜の試食や武蔵野市の野菜を使った体験型ワークショップなどを行っています。

●子どもワークショップ

エコや環境に関するワークショップや、廃材を利用した自由工作なども楽しめるイベントとして、春、夏、冬の年3回開催。作品はお持ち帰りできます。

●屋上観察会

普段は見学できない屋上の「ベジタブルガーデン」と「リサイクルガーデン」の観察会を行っています。普段のガーデンの様子は、クリーンセンターのホームページの観察日記ページでご覧いただけます。

●アップサイクルイベント

本来捨ててしまう廃材に付加価値をもたせることで、新しい製品にアップグレードして生まれ変わらせる「アップサイクル」の取り組みを発信するイベント。過去にはイベント期間中に作品を公募するコンテストを開催しました。

クリーンセンターではコロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面でのイベント開催を自粛する一方、これまでの取り組みも大切にしつつ、「みなさんとのつながりを大切にしていきたい!」「活動の輪を広げていきたい!」という想いのもと、感染対策を徹底した上でイベントに取り組んできました。

以前のように多くの方が施設に集い、地域とつながれるイベントが開催できるようになりましたら、ぜひクリーンセンターにご来場いただき、直接エコな取り組みを体験してみてください。